

## 平成21年度 第5回 京都市自転車等駐車対策協議会 摘録

- 1 日 時 平成22年2月17日（水）午前10時から午前11時35分まで
- 2 場 所 ホテル本能寺 醍醐ホール（5階）
- 3 内 容

### （1）会長あいさつ

今回は自転車総合計画の答申案を本協議会で決定したい。パブリックコメントを受けて総合計画が修正されているので、再度、皆様のご意見をお伺いする。

### （2）資料確認

### （3）定員数確認

#### 【事務局】

本協議会の委員数30名のうち、現時点で18名の出席があり、委員の過半数を超えることから、「京都市自転車等放置防止条例施行細則」第13条第3項の規定に基づき、本日の会議が有効に成立することを確認する。

### （4）委員の紹介

### （5）議題（1）本日の協議内容と今後のスケジュール

### （6）報告 デンマークの取組事例

### （7）議題（2）改訂京都市自転車総合計画（素案）に対する市民意見募集の結果について

### （8）議題（3）改訂京都市自転車総合計画（案）について

#### 【事務局】

資料説明

#### 【塚口会長】

市民意見を反映させた総合計画案に対し、何か意見等があれば、願います。

駐輪対策については3つの柱がある。放置禁止区域を定めること、有料の駐輪場をつくること、適正に取り締まることである。本計画の中でも、この3本柱の考え方を踏まえ、取組が記載されている。

#### 【村山委員】

P39の啓発活動のところに「府警等の関係行政機関とも十分な連携を図り」とあるが、どのような意図で府警が例示されているのか。

#### 【事務局】

京都市が先頭に立って取組を行うことには間違いがない。現在、総合計画の策定に先だって、自転車利用マナーの向上を目指し検討会を立ち上げており、府警や教育委員会にも参画いただいている。今後、どういう効果的な啓発を行っていくのかを、その中で検討していきたいと考えている。

記載については、縦割りで取組を行うのではなく、関係機関が連携してやっっていこうとする中で、府警を象徴的に書かせてもらっている。

#### 【村山委員】

理解した。

自転車走行マナー、駐輪マナーを含めて、府警も一緒に取り組んでいきたいと考えている。

**【事務局】**

昨日、自転車利用等マナー向上検討委員会で、大々的なイベントを行った。併せて各区役所でも、啓発を行っている。

**【李委員】**

「歩くまち・京都」総合交通戦略には、目標数値が示してある。本計画でも数値としてわかる目標を記載すればどうか。

**【事務局】**

本計画の位置付けとして、自転車法の中では、駐車対策に関することとなっている。自転車問題を解決し、放置をなくすことを目指している。目標値としては放置自転車が0台になることである。本計画は、0台にする方策を書いているものである。

**【塚口会長】**

上位計画として、「歩くまち・京都」総合交通戦略があり、本計画は、それを受ける計画であり、「歩くまち・京都」総合交通戦略の目標値を念頭において考えれば良い。

他に意見が無ければ、本内容で、改訂京都市自転車総合計画案として答申とすることに了承頂けるか。

**【一同】**

(異議なし)

**【塚口会長】**

ありがとう。

それでは、答申提出に向けて、事務局から説明をお願いします。

**【事務局】**

ただ今、委員の皆様の了解により、答申を確定いただいた。これまで計5回の開催に出席いただき、非常に活発な議論の末、こうした形で答申がまとまったことについて、御礼を申し上げます。

今後の予定であるが、会長や市長との日程調整のうえ、今月中に、答申提出の進めを進める。

答申提出についての提案であるが、委員の皆様には、日々多忙のことと思うので、当日は会長に出席いただくことでどうか。

**【一同】**

(異議なし)

**(9) 議題(4) 平成22年度以降の協議会運営について**

**【事務局】**

資料説明

**【石野委員】**

市のみ、民間事業者のみ、市民のみでは、問題を解決できない。一緒にやっていくべきである。御池通まちかど駐輪場をオープンしても、放置が無くならない状況を、市はどのように認識しているのか。電磁ロック式駐輪場では不正が多いが、2月頃からは指導の効果もあり、随分減少した。きちんと駐輪させる方策は業者が考えればよいが、周辺の放置自転車は市が責任を持って撤去等の対応をすべきであり、本腰を入れて行うべきである。

**【事務局】**

御池通まちかど駐輪場に関して、確かに、南側は入っているが、北側は利用が少ないと認識している。稼働率は100%以上になっているが、短時間利用が多い。集中的に撤去を実施したときには稼働率が上がっている。

現在、保管所を再編しており、都心部では撤去を十分行えていないが、3月からは再び強力で撤去を行う。班数を増やして、土日にも実施していく予定である。

**【石野委員】**

駐輪場が空車なのに、放置されているのがいけない。

**【塚口会長】**

駐輪対策は、3つの柱（放置禁止区域を定めること、有料の駐輪場をつくること、適正に取り締まること）で、取り組んでほしい。

**【丸毛委員】**

市民意見にもあるように、良い計画でも実施しないと意味がない。短中期の計画を示すとあるが、どのようなイメージか。

**【事務局】**

来年度の協議会は、まず5月頃に開催し、今年度の駐輪場の整備検討場所などを示していきたい。中期的な検討課題として、駐輪場利用料金の有料化等について検討を進め、また皆様の意見を伺いたい。

**【高田委員】**

「地域の協議会の意見を踏まえ」と記載があるが、地域の協議会はどのようなものか。

**【事務局】**

P19に記載している「地域の交通安全推進団体等」である。もっと地域で活動する協議会を増やしていきたい。

**【小谷委員】**

取組を進めるに当たり、あらゆる施策を先行的に実施するモデル地区を設定して、その取組結果を検証し、他の地域に展開していけばどうか。ベストプラクティスとして経験を積み上げていく。個々単独で施策を実施するのではなく、施策がセットで行われて、どう変わっていくかを見ていけばいいのではないか。

今後、ソフト、ハードとも取り組んでいく中で、課題も出てくる。個々の対応を積み上げて、マニュアル化してはどうか。

**【大賀委員】**

中学生のアンケートで多かったのが、有料化と啓発である。検討を進めて欲しい。

自転車道をつくって欲しい。コペンハーゲンの事例では自転車レーンを青く塗っていたが、中学生もどこを走ったらいいかわからないということもあるので整備をお願いしたい。

また、商業地区だけでなく、観光面からお寺等にも駐輪場をつくって欲しい。

**【事務局】**

走行環境では、モデル地区で進めていきたい。

中学生のマナーの話は、事故につながるので、モデル校を決めて啓発などに取り組んでいきたい。お寺については、具体的に働きかけを行っている。

**【西本委員】**

商店街などとタイアップした企画ができるとよい。

高校でも自転車通学が多いのでモデル校を設定して欲しい。

**【塚口会長】**

進ちょく管理の面で、少し物足りないと思ったところがあったが、次年度以降、具体的に示していただき、我々も検討に加わるということであり、結構かと思う。

今後も、皆様から積極的、有意義な意見を伺い、自転車施策を推進していきたい。

以上

## 京都市自転車等駐車対策協議会委員名簿

任期：平成21年6月17日\*～平成23年6月16日） \*改選委員は改選日から  
(敬称略, 五十音順)

氏名	役職等	出欠
秋田 和子	京都市老人クラブ連合会理事	欠席
石野 猛	京都商店連盟理事	
伊豆田 富美子	京都市地域女性連合会常任委員	
井原 秀隆	京都サイクリング協会理事長	
井料田 信孝	京都府府民生活部安心・安全まちづくり推進課長	松浦代理出席
上村 憲子	公募委員	
大賀 洋子	京都市立中学校PTA連絡協議会親まなび委員長	
大橋 弘司	京都百貨店協会事務局長	欠席
水田 潤二	京福電気鉄道株式会社取締役鉄道部長	欠席
奥田 英雄	西日本旅客鉄道株式会社京都支社企画課長	呉竹代理出席
小谷 通泰	神戸大学大学院教授	
川村 猛	京都府警察本部交通部交通規制課長	欠席
北富 洋二	京都商工会議所理事・産業振興部長	欠席
九後 順子	阪急電鉄株式会社都市交通事業本部都市交通計画部調査役	
小林 賢太郎	国土交通省近畿地方整備局京都国道事務所長	欠席
高田 艶子	コンシューマーズ京都(京都消団連)副理事長	
田中 健介	東海旅客鉄道株式会社新幹線京都駅総務科長	欠席
丹司 透	叡山電鉄株式会社常務取締役総務部長	欠席
塚口 博司 ○	立命館大学教授	
土田 稔	京都市交通局高速鉄道部営業課長	
長島 伊津子	京都市肢体障害者協会役員	
中田 壽子	京都府視覚障害者協会理事	欠席
西本 雅則	京のアジェンダ21フォーラム事務局長	
古川 孝助	京都府自転車軽自動車商協同組合理事長	欠席
前田 勝	京阪電気鉄道株式会社鉄道企画部課長	
槇山 雅史	近畿日本鉄道株式会社鉄道事業本部企画統括部計画部長	欠席
丸毛 静雄	株式会社京都新聞社論説委員	
溝口 侑	公募委員	欠席
村山 守	京都府警察本部交通部駐車対策課長	
李 利奈	公募委員	

※ ○印は会長を表す。